

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号

〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-1-623433

○下野新聞社2019

読者室 028-625-1179

(受付 月～金・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売部 028-625-1120(販売)

事業局 028-625-1134(事業・教育)

営業局 028-625-1133(広告)

下野新聞社ホームページ

<https://www.shimotsuke.co.jp/>

号外

下野新聞1週間無料お試しキャンペーン実施中!

お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081



新元号「令和」

政府決定 5月1日施行

万葉集出典 国書は初

政府は1日、「平成」に代わる新元号を「令和(れいわ)」と決定した。今の天皇陛下が改元政令に署名され、同日中に公布。4月30日の天皇陛下退位に伴い、皇太子さまが新天皇に即位する5月1日午前0時に施行される。皇位継承前の新元号公表は憲政史上初めて。「大化」(645年)から数えて248番目の元号で、1979年制定の元号法に基づく改元は「平成」に続いて2例目となる。



新元号「令和」を発表する菅官房長官＝1日午前11時41分、首相官邸

菅官房長官は会見で、新元号の出典は「万葉集」と明らかにした。中国ではなく国書(日本古典)から採用されたのは確認される限り、初めて。

改元は天皇一代に一つの元号とする「一世一元」制が採用された明治以降、天皇逝去に伴う皇位継承時に行われてきた。今回は退位特例法に基づき、逝去によらない改元となる。

元号選定手続きは平成改元時を基本的に踏襲した。政府は元号候補名の案を依頼する専門家数人を「国文学、漢文学、日本史学、東

洋史学」の分野から選び、3月14日付で正式委嘱。候補名から数個の原案に絞った。1日には各界の有識者による「元号に関する懇談会」を首相官邸で開いて意見を聞き、衆参両院の正副議長の見解も聴取して改元政令を閣議決定した。

新時代にふさわしい
福田富一知事の話 新たな時代の元号としてふさわしいものと思う。「平成」と同様、広く国民、県民の皆さんに受け入れられ、深く根差していくことを願っている。

新元号公表までの主な経過

2016年8月8日	天皇陛下が退位の意向をにじませたビデオメッセージ公表
17年5月19日	政府が天皇陛下下一代に限り退位を実現する特例法案を国会提出。改元の政令は国民の意見を聞くパブリックコメント(意見公募)の対象外と規定
6月1日	衆院議院運営委員会が特例法案の採決に合わせ「改元に伴って国民生活に支障が生ずることがないようにする」との付帯決議を採択。参院側も同7日に採択
9日	特例法成立
12月1日	皇室会議で天皇陛下の退位日を19年4月30日と決定。皇太子さまが翌5月1日に新天皇に即位、改元
8日	閣議で退位日を正式決定
18年5月17日	政府が新元号の公表時期を改元の1カ月前と想定して準備を始める方針を決定
6月5日	超党派の保守系議員による「日本会議国会議員懇談会」が、新元号公表は新天皇の即位日である19年5月1日を原則にすべきだとの見解を公表
8月6日	自民党保守派が、新元号公表は新天皇の即位後とすべきだと菅義偉官房長官に要請
19年1月4日	安倍晋三首相が年頭記者会見で新元号を4月1日に公表すると表明
4月1日	新元号公表



首相官邸で開かれた「元号に関する懇談会」
11日午前9時31分

明治以降の元号

明治	1868年10月23日～1912年7月30日
大正	1912年7月30日～1926年12月25日
昭和	1926年12月25日～1989年1月7日
平成	1989年1月8日～2019年4月30日
新元号	2019年5月1日～

※山本博文東大史料編纂所教授編著「元号 全247総覧」から作成